

1/15 木曜日  
2026年（令和8年）  
(第 10 面)



G空間EXPOのチラシ

皆さまのG空間EXPO 2026  
(<https://www.g-expo.jp>)へのア  
クセス及び展示会場へのご来場を心より  
お待ちしております。

## G空間EXPO 集客型は東京ビッグサイトで1月28~30日

【1月28日】  
G空間EXPOは、地理空間情報技術活用社会（G空間社会）の実現に向けて、一般の方々への普及とG空間関連産業の発展を目的に、産官学が連携して、毎年開催されています。コロナ禍の2020年はオンラインで開催し、21年からは東京都立産業貿易センター浜松町館でハイブリッド型で開催し好評を博しました。さらに25年は「防災産業展」「グリーンインフラ産業展」「国際宇宙産業展 I-SIEEX」と合同で開催し、15回目となる本年も同様、1月28日（水）～30日（金）に東京ビッグサイトで前記3展と同時開催（1月21日（水）～2月13日（金）にオンラインでも開催）します。

（公社）日本測量協会、（公社）全国測量設計業協会連合会、（公財）日本測量機器工業会、（公財）日本測量調査技術協会の4団体が主催するG空間EXPOの中核イベントとなる地理空間情報フォーラムでは、企業・団体による展示、出展者セミナーなどを通じて、日本のG空間社会を支える最先端の技術やさまざまなサービス等を実地会場で紹介します。また、オンラインにおいても企業・団体による動画や画像などを配信いたします。出展分野は、航空・地上・UAVレーザー、GNSS（全球測位衛星システム）や3D関連、地理空間情報の活用事例やDX、最新技術など多岐にわたります。

また、今年も国土交通省国土地理院主催のGeoアクティビティコンテストのプレゼン及び表彰式、内閣官房主催の地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード2025」の表彰式などが同時に開催されます。

ハイブリッド型での開催により、参加者が自分の状況に合わせた参加方法を選択することができるため、満足度が上ります。遠方からの参加者などは特にオンラインの選択肢も持つことで参加が容易になります。



日本測量協会会長  
清水 英範氏 あいさつ

オンラインは1月21日～2月13日 最先端の技術集結、野口聰一氏ら登壇 ステージイベントも

### ■G空間EXPO関連イベント■

- ステージプログラム  
会場はメインステージ（東7ホールなど）
- 【1月28日】  
▷「第2回国土交通省地理空間情報データチャレンジ」表彰式・トークセッション（午後1時40分～3時）  
国土数値情報などの地理空間情報データを活用するデータ分析コンペの表彰式と表彰者による解説プレゼン
- （<https://www.g-expo.jp>）へのアクセス及び展示会場へのご来場を心よりお待ちしております。

テーション、地理空間データ有識者を集めたラウンドテーブルなどのトークセッションを予定。

#### 【1月29日】

▷基調講演「宇宙と地球がつながるG空間社会の未来へ」（午前10時30分～11時10分）

3度の宇宙飛行経験を持つ宇宙飛行士で国際社会経済研究所CTO、IHIアカデミー長の野口聰一氏が「G空間社会の未来」をテーマに、宇宙開拓と地理空間情報の連携がもたらす展望を語る。

▷パネルディスカッション 国交省・「建築・都市のDX」の現在地～3Dデジタルツインの目指す未来～（午前11時30分～午後0時30分）

「建築・都市のDX」について、国土交通省の住宅局、都市局、不動産・建設経済局の実務担当者が取り組みを紹介する。

▷未来を拓く持続可能な社会のデザイン～防災×グリーンインフラ×宇宙×G空間技術の最前線（午後3時30分～4時50分）

スピーカーは防災科学技術研究所の酒井直樹氏、パシフィックコンサルタントの小笠原栄悟氏、国土地理院の山崎航氏。

#### 【1月30日】

▷「イチBizアワード2025」表彰式（午後0時45分～2時30分）

地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」。G空間の新時代を切り拓く多様なアイデアを表彰する。